



あさかわ まちづくりニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会

令和4年9月1日 第52号 委員長・宮下文夫 編集・北條昭吾

霊園のゴマシジミ7月30日4匹初飛翔！ 8月16日37匹舞う

長野市霊園に生息する、環境省のレッドリスト2020「絶滅危惧種1A」(注)に指定されている貴重な蝶、ゴマシジミ(本州中部亜種)は今年も保護活動している住民等が確認作業を続けています。今年も長野市霊園内で7月30日(土)4匹を、8月16日(火)1日当り37匹の飛翔が確認しました。

7月30日朝7時過ぎ気温25度、快晴無風、ゴマシジミの食草フレモコウの花は一部で赤くなり初めていました。ゴマシジミは猛暑が続く日中は草の裏で過ごすなどで見つけにくい状態です。

昨年は1日当り確認されたゴマシジミは39匹で、年々その数は増えてきています。

(注)環境省レッドリスト2020では【絶滅危惧種1Aは、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの】となっています。



ゴマシジミ保護活動で環境省・日本鱗・学会・浅川住自協等が交流

長野市霊園に生息する絶滅危惧種の蝶・ゴマシジミの保護活動について環境省と保護活動をしている関係者との交流会が8月5日(金)長野市霊園で行われました。



浅川の長野市霊園に住む貴重な蝶・ゴマシジミの保護活動を長野市霊園と浅川地区住自協が2016年から合同で行ってきました。

交流会には、環境省中部地方環境事務所信越自然環境事務所野生生物課綾部芳秀自然保護官、日本鱗翅学会田下昌志理事、長野市霊園徳永昭行前所長、浅川地区住自協下村守昭活性化推進員、同まちづくり計画推進委員会北條昭吾広報担当、ゴマシジミの調査をしている花崎秀

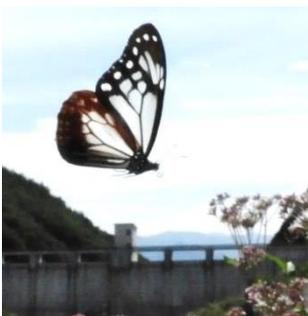
紀氏が出席しました。

徳永昭行前所長からゴマシジミの保護活動の経緯について説明、出席者からはゴマシジミの密猟防止の看板設置、パトロール活動、浅川小学校児童の育苗苗、現地学習など保護活動の実態などを出しあい交流しました。

出席者はゴマシジミが生息する霊園内をまわり、生息状態、ゴマシジミの食草フレモコウの生育状況を見ると共にフレモコウがススキなどに負けていないかゴマシジミの環境状況を見てまわりました。

フジバカマ苑の「アサギマダラ」昨年9月13日50匹が乱舞！

9月初旬からの飛翔が楽しみ



「浅川ダム・フジバカマ苑」に大型の蝶アサギマダラを呼ぼうと「チームフロンティア・浅川」では毎年フジバカマ苑の手入れをしてきました。昨年度は最高の50匹を越すアサギマダラが飛び交い見学者を楽しませました。

昨年のアサギマダラ飛翔は、9月6日1匹、9月12日12匹、9月13日には50匹が乱舞しました。

見学するには、晴れた日で南風の微風、午前10時半頃から午後1時半頃までがアサギマダラの見学に良い時間のようです。フジバカマは2m以上に成長することがあり、今年は試験的に数株のフジバカマの高さを1m余に抑える為、6月上旬に穂先を切りました。

「浅川ダム・フジバカマ苑」等の草刈りに 14 人が参加

浅川地区の活性化に取り組む「チームフロンティア・浅川（竹村美岐雄会長）」は「浅川ダム・フジバカマ苑」等の草刈りは6月19日に続き、8月7日（日）に会員 14 人が参加しました。

7日の草刈りは、9月初旬からアサギマダラの飛翔が始まる前に行ったものです。会員の参加が多くフジバカマ苑の草刈りが早く終わったため、同苑上段斜面・苑入口付近等の草刈りも行い、フジバカマ苑の見学者受け入れ準備が整いました。

7月23日（土）の浅川ダム祭りに伴い、ダム周辺の草刈りに チームフロンティア・浅川・県浅川改良事務所から 19 人が参加！

7月23日（土）に開催される浅川ダム祭り開催に伴い7月18日（土）浅川ダム周辺の遊歩道の草刈りに「チームフロンティア・浅川（竹村美岐雄会長）」の17名と浅川ダムを担当する県浅川改良事務所川住淳一郎所長ら2名の計19人が参加して3か所の草刈を行いました。



草刈りの遊歩道はブランド薬師入口からダム直下まで。ダム直下からダム天端に登る階段の遊歩道。ブランド薬師裏参道の3か所です。

ブランド薬師入口からダム直下の道路脇を刈払機で草を刈り片付けたり、U字溝の泥揚げ作業を行いました。草の中2カ所に蜂の巣があり1人が刺されました。



ダム直下からダム天端に登る階段の遊歩道では両脇から伸びる雑草・小枝で登りにくく、刈払機・のこぎり・大鎌などを使って刈り、遊歩道はスムーズに歩けるようになりました。

裏参道では薬山頂上付近までの遊歩道脇を刈払機で草刈りを行いました。

今回チームフロンティア・浅川は県に対して一緒に草刈をしませんかと呼びかけ実現したもので、川住所長は「ダム祭りには階段の遊歩道など綺麗になって気持ちよく歩いてうれしい」と感想を述べていました。

真光寺湯歩道脇のハックルベリー草取りに7人が汗を流す！



浅川産のハックルベリージャムを作ろうと「チームフロンティア・浅川」の有志7人は7月10日（日）浅川真光寺の遊歩道脇で栽培しているハックルベリーの草取りを行いました。

ハックルベリーは4月3日種まき、6月12日密に生えた苗の移植を行いました。その後も有志が炎天下水やりをしながら手入れをしてきました。

女性3人を含む有志7人は、80cm位に伸びたハックルベリーの根元に生えた雑草の草刈りを行いました。ハックルベリーは花が咲き実をつけているものもありました。9月には大きな実が収穫できる予定です。

8月31日、県がゴマシジミ保護活動の現地調査

県は平成28年度長野県希少野生動植物保護条例でゴマシジミ（本州中部亜種）が希少野生動植物に策定（指定）しました。今年度は保護回復事業計画の評価検証を実施する年にあたり、今まで熱心に保護育成活動取り組んだ浅川地区住自協・長野市霊園から聞き取り、ゴマシジミの生息状況、保護活動、調査、検証を専門家の話を聞きながら、必要に応じて計画の見直しを計りたいとしています。

評価検証・現地調査は8月31日（水）長野市霊園で県自然保護課担当者、県環境保全研究所と保護活動している長野市霊園、浅川地区住自協が参加して開催されます。